

新館1階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	0	
理念に 基づく 運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域でのその人らしい生活を支えていく為に、ほんわかハウスでは、『入居者お一人お一人が「主人」であり、入居者と職員は生活を共にするパートナーである。入居者お一人お一人の人格が尊重され、個々人のご希望に添ってありのままに生活する事が出来、日々の生活に喜びと自信を持って頂ける』事を理念としている。	0	
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び全職員が理念を共有している。理念に即したケアが実践出来るようミーティング等で話し合い、ケアの実践にあたっている。理念に関しては、玄関、事務所等目の付く所に貼付し、常に意識することを心掛け、理解できるように努めている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来訪時に目に留まるよう、玄関前に理念を貼付している。また利用契約時、家族会や地域運営推進会議などの機会に説明を行っている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	道で会ったらこちらから声をかけ挨拶している。皆でついた餅をおすそ分けしたり、庭先でお茶を飲んだりする際、外にいる隣人にもお茶をお出ししている。また、積極的に散歩等に出掛け顔を覚えて頂くようにしている。	0	
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に属し、一住民として自治会主催の七夕祭りや運動会等の行事に参加している。また地域清掃などにも積極的に参加し、地域の方々との交流に努めている。その他にも、中学生の職場体験の受け入れや子供会の廃品回収の協力を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ミーティング時に「地域貢献の為に何が出来るか」を話し合う機会を設けている。現在は地域の幼児に対しての見守りや声掛け等を行っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の評価で悪かったところは改善できるように努力し、良かったところはさらに伸ばせるよう各自取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	資料等を配布し地域の方々の意見を聞き、サービス向上につとめている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターとの関りは、会議ではあるものの思うように取れていない。行政も含め連携について再度検討して行きたい。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護等の講習会に参加し、その内容をミーティングで他の職員に伝えている。資料をご家族に提供している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会・研修への参加。虐待についての資料を回覧し、虐待の防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0		
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約には十分な時間をかけ、利用者、ご家族の不安を取り除きながら、理解・納得をして頂いている。契約後に不安な点があった場合や、解約希望時などにはその都度対応させて頂いている。	0	
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常時利用者の声に耳を傾け、出来る限り希望に添えるよう努力している。また日頃の会話の中で利用者の気持ちを察知し、言いやすい雰囲気を作っている。	0	
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お金を持たれている方は出納帳をつけ、ご家族来訪時に見て頂いている。毎月各担当者が手紙を出し、健康状態や生活の様子を報告している。必要に応じてその都度ご家族に電話をかけ報告・相談をしている。	0	
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内に苦情相談窓口を設け、意見や不満、苦情を表せるようにしている。ご家族から頂いた意見や不満、要望に関しては真摯に受け止め、職員全員がその問題を共有し、問題の改善向上に努めている。また、ご家族来訪時には、話しかけやすい雰囲気作りに努めている。	0	
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度ミーティングを開き、意見交換を行っている。玄関の施錠時間等、その時の状況に応じ話し合っている。	0	
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	個別ケアを必要とする際は、マンツーマンで対応できるように、日勤体制をとっている。ご家族より付き添い介助の要望があったときは、職員を確保している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職や異動希望者がいない限りは極力異動等は行っていない。また、離職を最小限に抑えられるように、管理者、リーダーと共に職員間の良好なコミュニケーションに努めている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用の際の選別等は行っていない。事業所の職員に関しては、個別の能力を理解し個人にあった指導・支援を行っている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育・啓発を学ぶ為に地域での勉強会に参加し、それを基に内部でも勉強会を行っている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内を掲示しており、受けたい研修を受講できるような体制がとられている。月に一度の勉強会や新人研修への参加。また、外部の研修も有効活用し、職員育成に努めている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県高齢者G・H協議会のブロック内での勉強会や意見交換を行う場を設けたり、交換研修と題して、ホーム間を相互訪問している。勉強会、実習の内容はレポートを作成しミーティング時に発表し、情報を共有する事でサービスの質を向上させられるよう取り組んでいる。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に2回、事業所全体での親睦会を開いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 みたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回、職員は自己評価を行っている。自己評価はボーナス査定の参考材料にされている。月一度の勉強会や研修へ参加している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りそ その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前にはご本人とお会いし、不安な点や要望等をご本人が安心出来るまで傾聴している。お話をさせて頂く中で、「害がある人間では無い」と言う事を認識して頂くと共に、サービス利用の際にスムーズに利用して頂ける為のコミュニケーションを取らせて頂いている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族から相談があった際には、ご家族の不安や要望等を、時間をかけて傾聴している。また、ハウスでの生活や過ごし方、実際の対応方法等をお話する事で、ご家族の不安を軽減出来るように努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際にはご本人、ご家族の要望や不安な点等を時間をかけてお聞きする事で、ホームで支援していく事が適切であるかどうかを見極めるようにしている。場合によっては他施設・機関等の情報もお話しさせて頂き、ご本人とご家族が利用に関しての適切な判断が出来るよう対応させて頂いている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用契約の前には、必ずご本人にホーム内での生活を見て頂き、場合によっては他の入居者と一緒にお茶を飲んで頂いたりしている。ご本人がホームでの生活及びサービスについて、納得した上で利用契約を行っている。また入居当初はご家族に出来るだけ面会、電話等をお願いし、不安の軽減に努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6項目・外部評価 1項目	0	
係り とこ れな 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に作業をしながら、会話の中から昔の知恵や習慣等を学ばせて頂いている。テレビを見て笑ったり、喜んだりと行動を共にし、困ったことがあれば話を聞き、解決方法を一緒に考えている。又、時には職員の相談相手になって頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	月に一度御家族へお便りを書いている。体調の変化の報告や生活用品についての相談を小まめに行っている。来訪時、ご家族からの要望や意見を聞いている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族との会話がスムーズに行えるよう職員が同席している。電話が可能な時間を把握しており、本人希望された時は掛けて頂いている。電話については御家族と相談し、状況に応じて職員の携帯電話に掛けるようにしている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会できるようにしている。馴染みの場所や人との関係を途切らせない為に、ドライブや個別の外出をするなどして、支援している。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	作業や外出等、タイミングやメンバーを考慮し調整している（相性を把握している）。利用者同士会話がスムーズに行えるよう、職員が間に入り支援している。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	管理者や担当者が折を見て連絡を取ったり、訪問するなどしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	2	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価3項目・外部評価1項目	0	
1 の 一 把 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		会話の中で本人の思い等を聴き、把握に努めている。困難な方に対しては、生活歴や日常生活での様子を観察し、アセスメントを行っている。遠慮されたり、上手く伝えられない方もいるので本心を汲み取る努力をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日頃の会話の中から情報収集を行っている。本人がその当時のことを思い起こせるような声掛けを行っている。来訪されたご家族や親戚の方から話しを聞いたり、利用者との関わりを観察している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々人に合った援助を行うために、現状の把握に努めている。新たな状態変化が見られた場合は、素早い情報交換を行っている。毎朝のバイタルチェックを行っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のミーティングで職員全員で話し合いをし、ケアプラン更新前にはケアマネージャーも交えカンファレンスを行い、意見を反映した介護計画書を作成している。作成前にご本人・ご家族より要望を聞いている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化があった場合は、その都度新たな介護計画書を作成している。月に1度ケアカンファレンスを行い、細かい変化も記録に残し状態の確認に努めている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記入する個人記録の他に、ケアプランチェック表を作成し、ケアの徹底を図っている。出来ていない部分に関しては、カンファレンスにて話し合い、介護計画の見直し時にも活かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出の付き添いをお願いされた際、職員が付き添いを行っている。遠方であったり、なかなか来訪できない御家族の場合、他科受診の付き添い援助を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的な訪問と来訪による、地域教会ボランティアとの関りの中で、利用者が主役となれる場面が持てるよう協力して頂いている。自治会主催の行事に参加している。	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	実際に他のサービスをご希望される方がおらず現在では利用していないが、今後の為に、ケアマネージャーや事業者と情報交換を行っている。	1	地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合う機会を作り、地域資源を有効に活用していきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後の課題としたい	1	地域包括支援センターと情報交換を行い、本人の意向や必要性に応じた対応に努めたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内にかかりつけ医（あおいクリニック）があるが、ご本人、ご家族の希望があれば他科受診をして頂いている。健康状態に関しては毎日の日報に書き留めると共に、緊急時の対応の為に体制強化に努め、医師、看護師との連携を図っている。月1回の受診と月1回の往診を行い、定期薬の処方、健康状態の把握に努めている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	原則として、受診、往診日に相談及び報告を行っている。それ以外の日には電話やFAX、医療連携日報にて連絡をしている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診日やそれ以外の日にも、入居者の状態に関して相談を行っている。医療連携日報は看護師にも目を通して頂き、入居者の状態の把握、健康管理をしている。週1回の看護師の定期訪問がある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中も出来るだけ面会に行き、コミュニケーションを図り状態の把握に努めている。又、ご家族が付き添えない時に職員が代わって付き添っている。面会時に病院職員と情報交換を行い、記録に残し職員間で情報を共有している。医師・家族・管理者で話し合い退院の日程を決めている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の際に書面にて意向を確認している。また状態が変化した際には、その都度今後の治療、介護方針について相談、確認させて頂いている。その事については全職員間で情報を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	過去の取り組みをもとに、医師、ご家族との話し合いを持ち、事業所として出来る事を見極めながら、入居者のニーズに応えながら、終末期の支援を行っている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先に、ハウスでの生活・本人に関ったケア等について詳しく記入した添書を渡し、又、電話等で相談された場合も、出来る限りの助言を行い対応している。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩としての対応・言葉遣いを心がけ、分からないことや困ったことに対して助言を頂いている。その方に合った言葉掛けを行い、対応している。	0	
			53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日頃からコミュニケーションとっている。個人の分かる力に合わせた言葉掛けを行い、本人の思いや希望を聴く機会を設け、自己決定できるように支援している。	0

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の予定を前もって決めず、その時にしたいことをして頂けるように柔軟に対応できる体制を作っている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月1回訪問美容に来てもらい、可能な方は美容室に行ってもらっている。ご本人が希望された時は、パーマやカラーもして頂いている。食事会等出掛ける時は、その旨伝えお洒落をして出掛けられている。起床時の洗顔・整髪の声掛けと支援もあわせて行っている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を決め、希望があった時はその日の献立を変更し、対応している。買物から、野菜切・盛り付けまで一緒に行ってもらっている。苦手な食材の時は、違うもので個別に対応している。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人と一緒に買い物に行き、希望された物を購入して頂いている。食事会の時、要望があればお酒を飲んで頂いている。喫茶店に行く機会を作り日常的に楽しめるよう支援している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパートナー、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々人の排泄リズムに応じたトイレ誘導を行い、必要な方には居室内にポータブルトイレを設置している。ご本人の排泄状態に応じたオムツやパッドを使用し、時間帯によってもパッドを使い分けている。	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴の声掛けを行い、お好きな時間に入って頂いている(夕食後も入浴可能)。好みの入浴剤を使用し、湯温は一人ひとり希望された温度に設定してある。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その日の体調や睡眠時間を考慮し、ご本人に声掛けを行い休んで頂いている。身体を動かした後や疲れが見られる時は、休息の声掛けを行っている。日中も1時間毎の巡視を行い、室温の確認を行っている。基本的にご本人の好きな時間に休んで頂いている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買物やドライブが好きな方には声を掛けお誘いする。口論された際、ドライブや散歩にお誘いし、気分転換を図ってもらっている。生活歴等を参考にし、ご本人の得意なこと・好きなことを活かした支援を行っている。本人が出来る事をやってもらっている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人から所持金が高額等の理由で保管を依頼された場合には、ホームの金庫にて保管させて頂いている。お金を使われる際にはその都度お渡ししている。また買い物の要望がある場合には同伴する等の支援を行っている。買い物時の支払いのご本人がされる。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中玄関の鍵は閉めずに、自由に出入りして頂いている。天気の良い日は玄関先にて日光浴をして頂いたり、ご本人の要望に沿って散歩やドライブに出掛けている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとの花見やどんたく、野球観戦、外食などを行ったり、法事等への付き添い援助や、ご自宅への帰省時の支援を行っている。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望された場合、電話を掛けてもらい、自分で掛けるのが困難な方には、職員の方で番号を押し通話してもらっている。贈り物が届いたら御家族に報告すると共に、お礼の電話を掛けて頂いている。介護計画に電話の支援を組み込んでいる。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	コミュニケーションを円滑にする為、希望があれば職員が同席している。居室の換気・掃除を小まめに行っている。来訪時居室にお茶やお菓子をお持ちし、居づらくないような雰囲気作りを心掛けている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修へ参加し職員に周知徹底し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	0	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	朝7時から夕方5時半まで開錠し、自由に出入りして頂いている。居室窓・リビング窓は鍵が開くようにしてある。開錠時間は安全性に考慮し、季節に応じて調整している。	0	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者のおられる場所を把握し、異変があった場合でもすぐに対応できる場所で見守りを行っている。各居室のドアには小窓が付いており、居室内の様子も分かるようになっている。居室にて休まれている際には、昼夜問わず一時間毎の巡視を行っている。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人の能力に応じて、管理できる物は自分で管理してもらっている。	0	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	服薬の際は、名前・日付・どの時間の薬なのかを声に出して確認すると共に手渡している。身体の傾く方には、肘掛け椅子を使用してもらっている。一人ひとりの顔写真を撮り、行方不明になった時すぐに対応できるようにしている。年1回、西消防署員・今宿分団員立会いのもと訓練を行っている。(訓練は2回実施)	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	2年に1回、救命救急士の講習を受ける。緊急時のマニュアルの作成し迅速に対応出来るよう心掛けている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、利用者にも参加してもらい避難訓練を行っている。火災・地震発生時のマニュアル作成し迅速な対応が出来るよう心掛けている。災害出用品を用意している。	0	ハウスで行っている避難訓練に、近隣住民の方の参加・協力をして頂く。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時やご家族来訪時に管理者、職員から状況変化や生活上のリスクについて説明している。ご家族とは常にコミュニケーションを取り、入居者も含めより良い関係作りに努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床時にバイタルチェックを行っている。日頃から顔色等の様子を観察し、気になる事があれば申し送りや記録に残し、情報を共有している。深夜でも医師に連絡が取れる体制になっている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬前に名前・日付を確認し、ご本人にも確認してもらっている。薬が変更になった場合は、記録し情報を共有している。薬に変更があった場合、いつも以上に状態の変化に気を付け、変化があれば記録に残し、医師と連絡を取っている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況を把握し、緩下剤に頼る前に牛乳やバナナ、食物繊維を多く含んだ食材を摂ってもらっている。水分補給に努めている。散歩にお誘いしたり、身体を動かしてもらっている。排便に考慮した献立作りを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨き・うがいの声掛けを行っている。必要に応じて援助している。また、往診して頂いている歯科に口腔ケアの助言・アドバイスをもらっている。	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事記録をつけ、食事量の少ない方には補食での対応を行っている。水分摂取の際、その方の好み・カロリーに配慮している。水分量が少ないと思われる方には、小まめに声掛けし水分を摂ってもらっている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人内での勉強会や保健所主催の研修を活用し、感染予防の知識を習得すると共に、事業所内での対処方法をマニュアル化し、ミーティング時に話し合うなどをして徹底を図っている。緊急時の対応の為に道具袋を作成し、ユニット内2箇所に設置している。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はその都度、必要な物だけを購入している。直売店を利用し、新鮮な食材を購入するようにしている。食器類は全て乾燥機にかけ、布巾、まな板等毎日消毒を行っている。賞味・使用期限に関しては最大限の注意をはらっている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生その環境づくり 人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	バリアフリーになっている。玄関にベンチを置いている。門扉をつけていない。季節の花を植え、明るい雰囲気を作っている。	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	適所に間接照明を使用している。ドア（トイレ等）を閉める際、大きな音が出ないようにドアのかたさを調節している。季節を感じられるような物（雛人形等）や花を飾っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関・庭・廊下・和室(畳)にベンチを設置し、自由に座れる環境がある。ソファを置く位置等、独りになれるような空間作りを工夫している。	0		
		85 外部 評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人がこれまで使用されていたものを持ってきてもらい、フローリングに畳を敷くなどし、馴染みのある環境作りを行っている。居室に置くもの、使用される物はご本人に選んでもらい購入してもらっている。布団を希望される方は、布団で休んでもらっている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室は離床後から窓を開け換気を行う。共同スペースは、1日数回窓を開けている。その際、気温等に配慮し、開ける場所、時間を変えている。各自に合った室温調節と確認を行っている。各居室にエアコンが設置してある。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々人の状態に合った動線を考慮した上で、座席の配置を行い、転倒等の危険がないよう手摺、またその代わりとなるものを設置している。タイプの違うトイレを3ヶ所設け、個人に合ったものを使用している。居室に関しては、生活習慣に合わせた物の配置をしている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々人の、心身の状態に合わせた声掛けや支援を行っている。各居室には表札をつけ、トイレや浴室にも札を下けている。タンスに何がどこにしまっているか分かるように、名札を貼ることで、わかる力を活用する働きかけを行っている。	0		
		89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前では野菜や花を育てており、日光浴や園芸活動が行えるよう工夫している。ベランダで洗濯物を干して頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	3	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該 当 番 号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。